

第11回前田寛治大賞展—写実表現の現在

1920年代に新写実主義を提唱し、革新的な作品を発表した前田寛治。倉吉市では前田寛治の顕彰と現代における写実表現の新たな展開や可能性を探ることを目的に1988年に前田寛治大賞を創設しました。

時代とともに変化していく表現の中、いま求められる写実表現とはどのようなもののでしょうか。昨年、推薦委員により選抜された作家27名による39点の作品をとおり、写実表現の現在（いま）をご覧ください。倉吉展では、歴代受賞作品と前田寛治作品も展示します。



佳作賞一席 江森郁美 《草》
2023年 130.3×162.0cm 油彩・画布

1987年長野県生まれ。広島市立大学大学院修了。2015年国展絵画部企画展示「新しい目」出品。2016年～Femmes展出品。2017年～ヴェロン會展出品。個展・グループ展多数。現在、ヴェロン會同人。広島県在住。【森吉 健推薦】

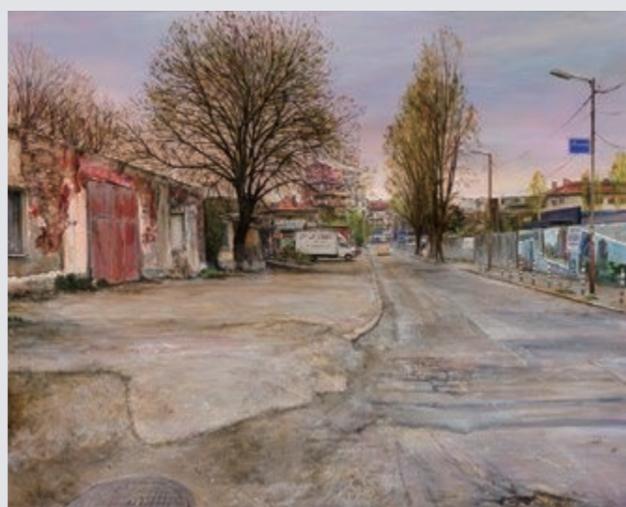


佳作賞三席 橋本大輔 《Traces》
2022年 112.0×162.0cm 油彩・パネル

1992年茨城県生まれ。東京学芸大学卒業。東京藝術大学大学院修了。修了制作：買上賞。独立展出品、2014年小島賞、2015年独立賞。2015年上野の森美術館大賞展出品、優秀賞ニッポン放送賞。アートオリンピック出品、2015年実行委員会特別賞、2017年学生部門2位・建畠哲賞。2015年青木繁記念大賞西日本美術展出品、西日本新聞社新人賞。同年雪梁舎フィレンツェ賞展出品、フィレンツェ美術アカデミア賞。2016年未来展・美大の競演出品、グランプリ。同年公募団体ベストセレクション美術出品。2017年昭和会展出品、優秀賞。2017年三菱アートゲートプログラム奨学生。2018年前田寛治大賞展出品、佳作賞二席。2019年アートオリンピック出品、学生部門一位・保科豊巳賞。2021年上田薫とリアルな絵画展出品。個展・グループ展多数。現在、独立美術協会会員。東京都在住。【シード作家】

大賞 石田淳一 《うつろふ》
2023年 112.0×162.0cm 油彩、鉛筆・画布

1981年埼玉県生まれ。日本大学芸術学部卒業。卒業制作：学部長賞、生産工学部賞、買上。2001年福知山市佐藤太清賞公募美術展出品、福知山市長賞。2003年～2015年白日会展出品、2005年新人賞、2008年準会員奨励賞、2011年東邦アート賞。2006年しんわ美術展出品、銅賞。2008年FIELD OF NOW影響×創造！展出品。2010年、2014年N+N展出品。2014年、2018年前田寛治大賞展出品。2020年青き砂漠へ展出品。2021年静と動展出品。2022年三宅一樹×石田淳一展。個展・グループ展多数。現在、日本大学非常勤講師。埼玉県在住。【高橋和正推薦】



佳作賞二席 亀山裕昭 《サバービア》
2023年 130.0×162.0cm 油彩・画布

1979年宮城県生まれ。岩手大学卒業。広島市立大学大学院修了。2001年岩手県芸術祭洋画部門出品、部門賞。2006年河北美術展出品、文部科学大臣賞。2013年新生堂リアリズム賞展出品、O氏賞。白日会展出品、2017年一般佳作賞、2019年準会員奨励賞、2022年SOMPO美術館賞、2023年文部科学大臣賞。個展・グループ展多数。現在、白日会会員。千葉県在住。【高橋雅史推薦】

- 入館料 一般600円(400円)、70歳以上の方は400円
大学・高校生300円(200円)
※()は前売り・20人以上の団体料金
- 次の方は無料 中学生以下、土曜日の高校生
障害者手帳等をお持ちの方とその介助者

〒682-0824 鳥取県倉吉市仲ノ町3445-8 TEL:0858-22-4409
<https://www1.city.kurayoshi.lg.jp/hakubutsu/>



詳しくはホームページをご覧ください。



■交通のご案内 JR倉吉駅からバスで20分(2番乗り場) 赤瓦・白壁土蔵バス停から徒歩8分 打吹公園内

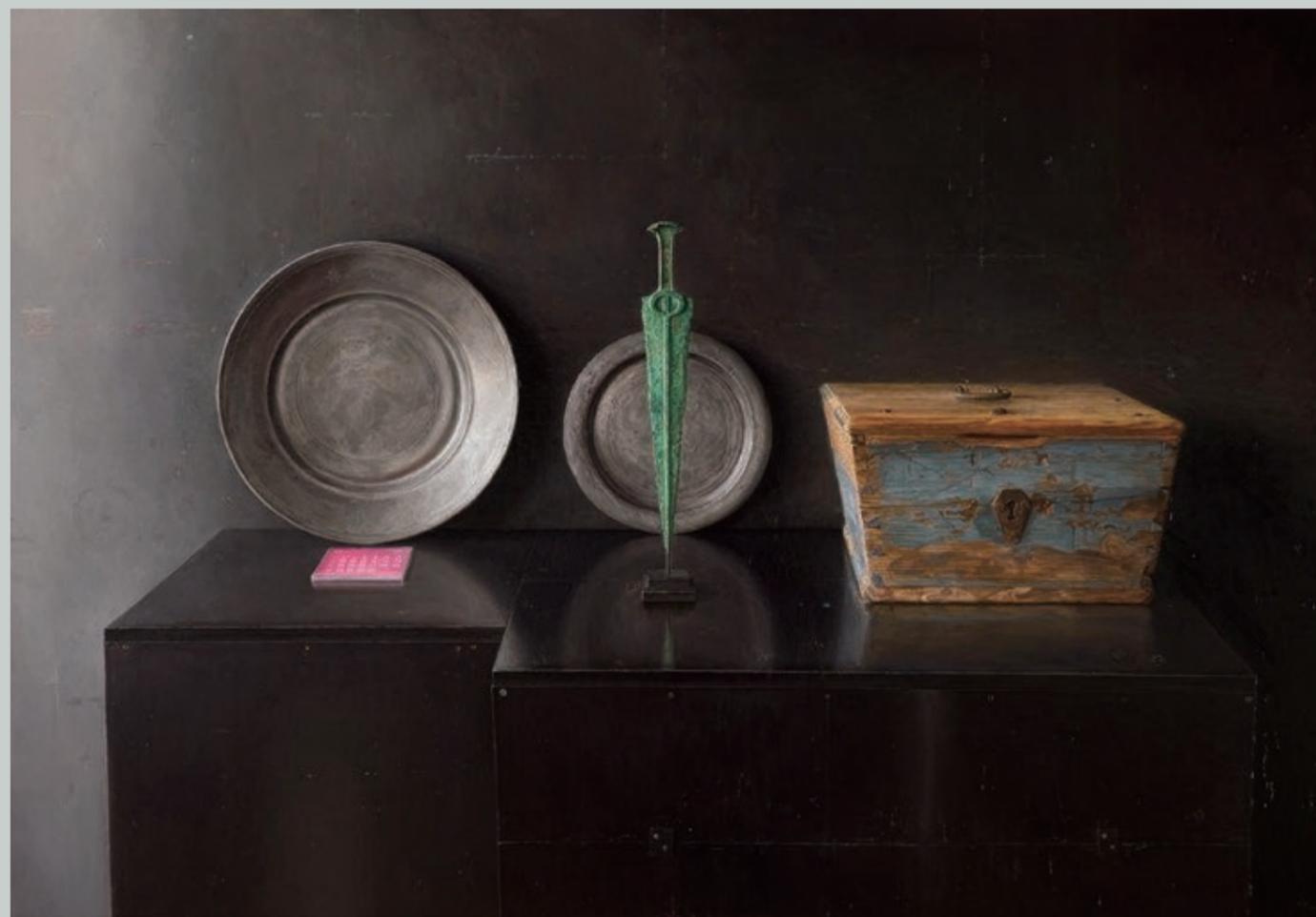
倉吉博物館

令和5年度 特別展

第11回 前田寛治大賞展

主催：倉吉市 協力：株式会社高島屋

写実表現の現在



大賞 石田淳一 《うつろふ》 2023年 112.0×162.0cm 油彩、鉛筆・画布

日本橋高島屋S.C. 本館6階 美術画廊

倉吉博物館

受賞者ギャラリートーク
9/9(土) 15:30頃～

8月17日(木) - 21日(月)

■営業時間 10:30-19:30
■展示内容 受賞作品を含む27点を展示
〒103-8265 東京都中央区日本橋2-4-1

9月9日(土) - 10月15日(日)

■休館日 9/11、19、25、10/2、10
■開館時間 9:00-17:00(入館は16:30まで)
■展示内容 出品作品39点、歴代受賞作品、小企画「郷土の洋画家・前田寛治」

審査委員

入江 観
笠井誠一
宝木範義
瀧 悌三
土方明司
50音順、敬称略

受賞者

佳作賞一席 江森郁美 《草》
佳作賞二席 亀山裕昭 《サバービア》
佳作賞三席 橋本大輔 ☆ 《Traces》

出品者

安部太郎 大山智子 笹井孝太☆ 野口俊介 松原 遼
伊藤慈敏 葛西明子 高橋舞子☆ 馬場 洋 山口俊郎
伊藤尚尋 片口 南 津絵太陽 藤原由葵 山安直志
因幡都頼 木浦奈津子 中西優多朗 松尾奈保 50音順
大川心平 小林宏至 中原未央 松永瑠利子 ☆はシード作家

(株)エースバック様の企業版ふるさと納税を活用し倉吉博物館の照明改修工事を行いました。

〒682-0824 鳥取県倉吉市仲ノ町3445-8 TEL:0858-22-4409
<https://www1.city.kurayoshi.lg.jp/hakubutsu/>

倉吉博物館

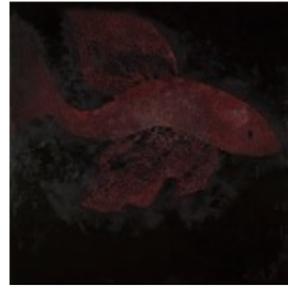
第11回前田寛治大賞 出品作品



安部 太一郎
《Airport》



安部 太一郎
《Terminal》



伊藤 慈欽
《迷路—ベタ赤—》



伊藤 慈欽
《迷路—ベタ青—》



伊藤 尚尋
《Agitator》



因幡 都頼
《どうする図》



大川 心平
《羽ばたく鳥は行き先を言わない》



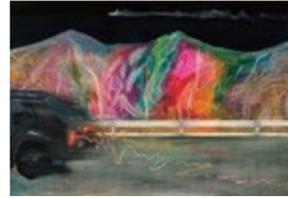
大山 智子
《SETOUCHI 1》



大山 智子
《SETOUCHI 2》



葛西 明子
《ラスボス》



葛西 明子
《余韻》



片口 南
《Deities' supper—聖餐—》



片口 南
《Simon》



亀山 裕昭
《Cold case》



木浦 奈津子
《うみ》



小林 宏至
《境界》



笹井 孝太
《背を向ける裸婦像》



笹井 孝太
《休息》



高橋 舞子
《覗いている、小さな森》



高橋 舞子
《幾度も西日を巡る道》



津絵 太陽
《そらのいろ》



中西 優多朗
《家族の庭》



中原 未央
《記憶—tomato III》



中原 未央
《Inside—T》



野口 俊介
《朝の余韻に》



野口 俊介
《新しい今が始まる》



橋本 大輔
《Traces》



馬場 洋
《光の舟》



藤原 由葵
《生出(YIELDS)》



松尾 奈保
《葬送》



松永 瑠利子
《Body》



松原 遼
《一日の終わり》



松原 遼
《一日の終わり》



山口 俊郎
《Someone Who Was Supposed to Be Here
—いたはずの一人—》



山安 直志
《Twins》

鳥取県美術館連携促進事業

小企画

「郷土の洋画家・前田寛治」
前田寛治の作品約10点を展示。

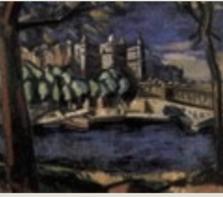


《J・C嬢の像》
1925年
倉吉博物館蔵



《ブルターニュの女》
1925年
個人蔵

《橋(セーヌ河畔)》
1924年頃
鳥取県立
倉吉東高等学校蔵



大賞受賞者
石田淳一さん講師

ボールペンで 立体感を描いてみよう

日時: 9月9日(土) 13:00 参加費: 400円
定員15人(8/17~申込受付・先着順)

受賞者ギャラリートーク

日時: 9月9日(土) 15:30頃~
申込不要・要入館料

ナイトミュージアム

日時: 9月15日(金)、16日(土)
22日(金)、23日(土)
17:00~20:00(入館は19:30まで)

心はじけるアート

臨床美術で「りんごを描こう」

日時: 9月24日(日) ①10:00、②13:30
参加費: 600円
定員: 20人(9/12~申込受付・先着順)

博物館無料開放日

TaDaDa だでー DAY

日時: 9月24日(日)、10月1日(日)
展示室内で絵を描いたり、ホールでの
創作コーナーもお楽しみください♪

やさしい言葉で絵画鑑賞

「まえたかんじてどんな人?」

日時: 10/1(日) 10:00
定員30人(9/12~申込受付・先着順)

イベント開催場所はいつでも倉吉博物館